

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [横浜国立大学教育学部附属特別支援学校] 担当教諭名 [水沼 志穂] (高等部 26名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Fu-fong Junior High School] 担当教諭名 [Lisa Lin]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	社会	SDGsについて調べ学習、意見交換	15
	美術	共同制作	8
	国語	自己紹介	2

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	私たちにできることはある
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	わたしたちが、環境について一人一人が考えて、自分のできることをやっていくことで、環境も動物も守ることができる。わたしたちができることを円の中に描き、それを積み上げていくことで一本の大きな木が育っていくという意味が込められている。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 「陸の豊かさを守ろう」について自分たちで調べたり、意見交換をしたりすることで、環境・動物・人間の関係について深めることができた。 アートマイルの学習を通して生徒自身が環境問題が他人ごとではなく自分事のこと捉え考えることができた。 自分たちのできることを一人一人が行動に移すことが必要だと生徒たちが話し合う中で結論を出すことができた。 台湾の学校の生徒と1つの壁画を完成させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が話し合ったことやまとめたことをフォーラムを通して伝え合うことができたが、内容やテーマについて相手国と議論を交わすことは難しかった。 相手国のことについて調べたり、日本のことを相手国に伝える時間を確保することが難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> アートマイル学習の意見交換を通して、日本と台湾が直面している問題の共通点や違いに生徒自身が気づくことができた。 世界の問題を自分のことのようにとらえることができた。 台湾の人に意見が伝わりやすいように工夫しながらスライドを作成することができた。 共同制作の壁画を通じて、言語だけではなく、絵を見て台湾の生徒たちが伝えたいことを感じ取ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手国とのやり取りは、翻訳アプリを活用し、フォーラムでコミュニケーションをとることができたが、ビデオ電話等を活用してコミュニケーションをとることは難しかった。 相手国が台湾ということもあり、文化が似ている部分もあるので、文化や習慣に関しては違和感なく取り組むことができた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて理解を深める 自己紹介 今年のテーマ(陸の豊かさを守る)について調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度取り組んだ生徒たちは、期待を膨らませている様子であった。今年度初めての生徒たちは先輩に去年の様子を聞きながら前向きに取り組むことができた。 	社会 国語
共有 相手と意見交換	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに自分たちのできることを実践・共有 調べたことをもとに意見を深める スライドにまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが調べたことをもとに、意見交換をしながら環境と人間が直面している問題に対して自分たちなりの答えを出していた。 	社会
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> 陸の豊かさについて意見をまとめる メッセージ検討 	<ul style="list-style-type: none"> テーマに沿って自分たちの興味のあることだけではなく、何を伝えたいのかを考えながらスライドをまとめている様子だった。 話し合ったことをどんなメッセージで伝えるか話し合い、壁画のデザインを決めていった。 	社会
創造 壁画制作	11月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画づくり 壁画発送作業 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作にあたり、グループで絵に表現したいことを話し合ったり、分担したりしながら描くことができた。 	美術 社会
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の振り返り ワークシート(個人) グループで共有 	<ul style="list-style-type: none"> 学習をする前と後では、環境問題を自分事のように考えたり、自分たちができることを考えて実践するようになったという意見が挙がった。 	社会

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	3	自文化や異文化について学習する時間を確保することができなかった。台湾での動物の絶滅などの話を聞き、日本とは違う文化だからこそ起こる問題に生徒たちが気づくことができた。
主体的に考え行動する力	4	夏休みの宿題で陸の豊かさを守るためにやったことをチャットで共有する活動を行った。自分たちでどんなことができるのか考えて行動したり、自分のやったことを友だちや家族に伝える生徒もいた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	環境問題について調べる中で、どうしてこのようなことが起こっているのか、何が原因なのか、どうしたら改善されるのかを自分たちで疑問をもちながら話し合ったり、答えを導きだしたりする様子が見られた。また今の対策(ビニール袋の有料化)が本当に意味があるのかなど疑問をもちながら意見をまとめることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	台湾とのフォーラムでのやり取りや写真、生徒たちの意見を共有することはできたが、対話をしたり、議論を交わすところまではできなかった。壁画制作を通して相手の表現したことをくみ取ったり、台湾にいる生徒と1つの作品を完成させたことに達成感を感じていた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	日本と台湾で意見を伝え合い、メッセージや壁画のデザインを考えることができた。1つのテーマで壁画を制作する過程で違う文化の生徒たちと同じ方向を向いて、絵に表現することができた。